



みんなちがって、みんないい？

～「他人の靴をはいてみなさい」（英国のことわざ）を考える～

先日、十全看護専門学校の生徒たちとワークショップを行った。金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」という詩を学校で習った世代なので、その際のテーマに「みんなちがって、みんないい？」を選んだ。最初この言葉の印象を尋ねると、全員から「賛成、それが当然だ」という答えが返ってきた。先日、国会でもLGBT理解増進法が成立したが、多様な生き方、価値観を認め合う社会に変わっていると実感した。

これで終わるとワークショップにならないので敢えて質問した。「“君は君の正義を貫け、私は私の正義を貫く”もし、そんな考え方を認めたら、今のロシアとウクライナ戦争も、各々が正義を主張してずっと続いていくかもしれない、それで大丈夫かな？」と、どう反応するか若干の心配を感じながらも3つのグループで対話が進んでいった。

看護師は多様な人々を相手にする仕事だ。病気を抱え、心配や不安を抱えた患者さん達と向き合い、相手の立場に立って接することが求められる。と同時に、感情に流されてしまうと自分を見失ってしまい、時に自分が壊れてしまうこともある困難な職業だ。

英語には“シンパシー”と“エンパシー”というよく似た単語がある。学校では両方とも同情や共感という意味で学んだ気がする。本来の意味は“シンパシー”は心の持ちようであり“感情”を指す。それに対し“エンパシー”は共感する“能力”を指すそうだ。英国には「他人の靴をはいてみなさい」ということわざがあり、幼い時から家庭で教育されるらしい。一見同じような靴も、実際に足を入れると一人ひとりの履き癖があり、違和感を覚えるものだ。様々な理由や社会的状況によって人は違う人生を歩んでいる。だからこそ、お互いが違うことを理解し、認め合うことが社会生活を送る前提条件になるのだろう。自分の立場から相手を想像する“シンパシー”を越え、相手の立場になって想像することができる“エンパシー”の力。

生徒たちはワークショップの中で、仲間の人生体験談に耳を傾け、否定ではなく受容のスタンスで語り合った。結果は、最初とほぼ同じ、みんな違ってみんないいという立場だったが、その前提として、相手をきちんと理解して、自分勝手な行動はダメだという条件を導き出した。そして、誰かの言葉をそのまま鵜呑みにするのではなく、みんなの考え方を聞いた上で、多面的、多角的に判断することの大切さも学んでいた。

大人になると“会話”はするが“対話”はしなくなるといわれる。何歳になっても、他人の靴を履いてみる体験を私たちは続けていきたいものである。

★後日談：ここで出会った生徒たちが、「スマホ動画編集講座」のサポート役を買って出てくれた。若い世代との縁ができることは本当に有難いことだと改めて感じている。



“しょうがいしゃと一緒に” ロビー展のご案内



今年度の講座として『しょうがいしゃと一緒に』が開催されます。SDGsの理念に掲げられている「誰ひとり取り残されない社会」を目指して活動を続けてきた「おもちゃ図書館きしゃポップ」をはじめとする市内のしょうがいしゃの学びや活動に関するロビー展を開催します。新居浜市の生涯学習都市宣言でも使われたタペストリーも展示されていますので是非ご覧ください。

誰ひとり取り残されない社会を目指して取組んできた活動を紹介します

期間 8月1日～8月31日 会場 生涯学習センター事務所前ロビー



タペストリー「学習の木」平成9年11月3日
新居浜市の生涯学習都市宣言で使われました



「しあわせなブタちゃんのアフタヌーンティー」



平成29年親子で手作りおもちゃづくり



2002年8月18日
「新居浜市おもちゃ図書館きしゃポップ和太鼓」
24時間テレビ1回目の参加

「みんなに支えられたことへ感謝」



おもちゃ図書館きしゃポップ

代表 松山 明子

No.29

私の生涯学習

私は、この街で3人の子どもを育てました。長女には“しょうがい”がありました。当時は“就学義務猶予や免除”の制度があり、親が諦めてしまったら、しょうがい児は学校で学ぶことができませんでした。当時の幼稚園や学校は、しょうがい児を預かることが不安だったのでしょう。そんな中、ある私立幼稚園の若い保育士さんの「断らないで預かるべきです」との一言で長女は幼稚園に通うことができました。そして皆と一緒に幼稚園へ通った実績があったおかげで、校区の小学校の特殊学級にも通えたのです。

集団登校だったので、上級生のお兄さんお姉さんが大きな心で包んでくれました。長女が登校途中にしゃがみこんで動かなくなってしまったことがありました。偶然パトカーが通りかかり「小学校まで乗せていきますよ」と言ってくれましたが、上級生たちは「私たちがちゃんと連れていきます」と断って、いつも通りの集団登校で長女を小学校に連れて行ってくれた時のことが、今も私の心に残っています。通学路には一ヶ所だけ信号機がある交差点がありました。私はいつも下校時間に隠れて見守っていました。すると通りがかりの近所の人々がさりげなく自転車を降りて、安全に交差点を渡っているかどうか見守ってくれていたのです。地域のみなさんの優しいまなざしが長女を支えてくれていたのです。本当にこのまちに住んでよかったと再認識しました。

そこで学んだのは、どんなに時間がかかっても、不自由なことがあっても腰を落ち着けて取り組むことの大切さでした。これは長女の学校の先生の言葉です。「1回でできなければ2回、2回でできなければ10回、10回でだめなら100回教えれば良いんですよ。」小さな一歩でも前に向かって進んでいけば、そこにはきっと成長・自立があります。たとえどんなに時間がかかっても、前に進んでいくことが素敵なことだと肝に銘じた瞬間でした。

今、社会の状況は変わり、しょうがい児も義務教育の恩恵を受けられるようになりました。私はこれからも、皆さんにいただいた恩を誰かに送っていきたいと思っています。





講座カレンダー



9月



予定のご確認を…

※警報や災害・講師の都合などで
日程を変更することがあります。

日	曜	時間	聴	講座名	回	テーマ	会場
2	土	9:30		スマホ動画講座★B班	2	動画編集	生涯学習センター研修室
		9:30	◎	高専市民講座	3	データで切り拓く世の中	新居浜高専視聴覚教室
		13:30		松山大学公開講座	6	インセンティブが変える?	生涯学習センター研修室
5	火	10:00		新居浜再発見	1	ワクリ工新居浜見学	ワクリ工新居浜
6	水	9:30	◎	新・雑談しま専科	4	雑談パート③	生涯学習センター研修室
		13:30	◎	公民館まちづくり	1	子どもが活躍する公民館	口屋跡記念公民館
7	木	13:00		学んで マナビィ	1	草木染・重ね染めに挑戦	ウィメンズ料理実習室
8	金	10:00		学んで マナビィ	—	心と体が柔らかくなるヨガ	ふれあい多目的アリーナ
		13:30		林住期を心豊かに生きる	3	元気の素のおすそ分け	ふれあい多目的アリーナ
9	土	9:30	◎	SDGs地球環境問題	4	私の地球環境への取り組み	生涯学習センター研修室
		13:30		絵手紙を楽しもう	4	好きなモチーフをかこう	生涯学習センター研修室
11	月	9:30	◎	人間学講座	4	唯識三十頌を読む④	生涯学習センター研修室
12	火	10:00		科学博物館講座	5	集まれ!世界の昆虫たち	科学博物館第1研修室
13	水	10:00	◎	懐かしの心の唄講座	3	懐かしい歌を唄う③	文セン別館中ホール
		14:00	◎	人生百年医学講座	3	サルコペニア・フレイル	文セン別館中ホール
14	木	13:30		命を守る防災・減災講座	3	過去の災害と今後の備え	防災センター2階
15	金	10:00		学んで マナビィ	—	”終活”を始めませんか?	ベルモニー会館坂井
		13:30		別子銅山に学ぼうⅢ	3	旧端出場発電所の水	文セン別館視聴覚教室
16	土	13:30		松山大学公開講座(変更)	3	経済効果とは何か?	生涯学習センター研修室
20	水	13:30		今日から始める介護予防	4	運動で心も身体も軽やかに	ふれあい多目的アリーナ
21	木	13:30		源氏物語の世界	1	源氏物語の各帖のお話①	文セン別館視聴覚教室
22	金	6:30		平和について学ぼう	4	平和を学ぶ広島研修旅行	現地
25	月	10:00	◎	しょうがいしゃと一緒に	3	米国のしょうがい児教育	生涯学習センター研修室
26	火	9:30	◎	へんろと郷土	3	徳右衛門と照連	文セン別館視聴覚教室
		13:30		大人の日本史講座	1	邪馬台国はどこにあった。	文セン別館視聴覚教室
27	水	9:00		野鳥観察初級	2	市民の森探鳥会	市民の森
28	木	9:30		はじめての別子銅山	3	鹿森社宅座談会	生涯学習センター研修室
		13:30	◎	新・読書のすゝめ	1	持ち寄り本を紹介①	生涯学習センター研修室
29	金	9:30		市内文化財見聞録	3	古代寺院から五輪塔群へ	現地
30	土	9:30		スマホ動画講座	4	まとめ	生涯学習センター研修室
		13:30		松山大学公開講座	7	抗菌薬の適正使用	生涯学習センター研修室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。